

## T01.1 - SECONDARY WATER CHEMISTRY & RADIOCHEMISTRY | Control & Corrosion

### 【セッション全体の概要】

- ・このセッションでは3件の一般講演があった。
- ・中国の Dan Lu (CNNP)からは、秦山原子力発電所における二次系腐食抑制の改善の説明があった。腐食生成物抑制の結果、12か月換算で1機当たり約3.5kgのマグネタイトが復水の磁気フィルタで除去された。また、停止時には約0.7kgのスラッジが観察されたが、目視できる堆積物は観察されなかった。
- ・アメリカの Chuck Marks(DEI)からは、FPO (Flexible Power Operations)が蒸気発生器への腐食生成物取り込みを促進するかどうかの判定のための、プラント過渡状態での鉄の挙動評価の説明があった。FPOはBOC(Beginning of Cycle)に対して、過渡状態の鉄挙動への影響は非常に小さいが、FPO操作の増加が、腐食生成物管理に影響を及ぼす可能性が考えられた。
- ・アメリカの Jennifer Jarvis(EPRI)からは、蒸気タービンのクラック成長速度に対する有機酸の影響について発表された。SCCを再現した試験結果からは、CGRsに対する酢酸塩とギ酸塩の影響は観察されず、測定可能な範囲でクラックの成長は観察されなかった。タービンベンダは、クラック成長速度が増加するという古いデータを持っているが、今回の結果をタービンベンダに説明するとのことである。

【作成者氏名】 東拓真 (MHI)